

会 議 録

(5-1)

会議の名称		令和7年度 第4回 庄和地区地域づくり推進協議会	
開催日時		令和8年3月6日（金曜日）	開 会 午前10時30分
			閉 会 午前11時39分
開催場所		庄和市民センター正風館 2階 視聴覚室	
議長(会長等)氏名		会長 細谷 悟	
出席者	委員氏名	(出席人数： 11 人)	
		細谷 悟、森田 伝、嶋村 清、木村 亜人、松原 睦、横山 稜、後藤 香澄 磯村 幸一郎、小川 直美、早坂 総、坂本 宏子	
	説明者 事務局	(出席人数： 4 人)	
		市民生活部長 飯口 信彦、市民生活部参事 矢野 仁史 庄和市民センター 川辺 孝、根本 護	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会	
		2 会長あいさつ	
		3 市長あいさつ	
		4 報告事項について ・令和7年度 庄和市民センターを拠点とした地域住民主体の地域づくり 協議結果 中間報告	
		5 総評	
		6 その他	
		7 閉会 ※(すべて公開)	
一部公開・非公開の場合はその理由		☐ 要綱第3条第1号該当：	
		☐ 要綱第3条第2号該当：	
		☐ 要綱第3条第3号該当：	
		☐ 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		・令和7年度 庄和市民センターを拠点とした地域住民主体の地域づくり ～協議結果 中間報告書	
会議録の作成方法		☐ 録音テープ等を使用した全文記録 ☒ 録音テープ等を使用した要点記録 ☐ 要点記録	
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1. 開 会】 事務局報告 ・ 会議の公開及び傍聴人定員について ・ 会議出席人数(13人中11人)による会議の成立について
会 長	【2. あいさつ】 《細谷会長あいさつ》
市 長	【3. 市長あいさつ】 《岩谷市長あいさつ》
事務局	【4. 報告事項について】 春日部市地域づくり推進協議会条例に基づき、会長に議長、議事進行を依頼
会 長	議長及び議事の進行を了承。議事録署名人として松原委員を指名
会 長	細谷会長による令和7年度庄和地区地域づくり推進協議会中間報告 庄和地区地域づくり推進協議会について ・ 諮問機関として令和7年7月に委嘱 ・ 有言実行しなければならない位置づけの会議 ・ 委員間のディベートはなかなか織り込めなかった
	取り組むべき課題 ・ 全世代型の交流の場を通しての住民同士の結束の強い地域になることを前提とし、 ①現在活動しているイベントにコラボすることで若い世代が集う地域を作る。 →新たなイベントという声もあったが、まとめること生み出すことはなかなか厳しい。 ②地域一体となった防災体制の構築を目指す。 2つが上程されれば、正風館を拠点とした地域住民主体の地域づくりにつながると結論
	結論に至った経緯についての報告 中間報告資料の構成について 1 庄和地区地域づくり推進協議会 協議内容の概要 2 庄和地区が求める「庄和市民センター」のあるべき姿 3 庄和地域住民が自ら進んで行動できる取り組み 特に2と3の内容について議論を行ってきた。
	1 庄和地区地域づくり推進協議会 協議内容の概要について 資料のとおり開催、協議を実施した。 (資料説明) 2 庄和地区が求める「庄和市民センター」のあるべき姿 委員会の進め方について議論の展開がぶれないように枝と幹という観点の幹を作り、 基本軸とする。その基本軸を基に夢を描こうと、 ・ 住みやすいまちづくりのための住民のコミュニティ ・ 安心・安全に寄与するセンターの役割 の両方の機能について議論を実施

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	現状と課題というより、現状と分析として議論 (資料説明) あるべき姿(理想像)について (資料説明) 今後の方向性と検討課題 (資料説明) 市民センターの役割とはこういうことであり、受けられるサービスのPRが必要 夢を描いて、その夢へどう進んでいくかという基本線を議論し、理想としてまとめた。 3 庄和地域住民が自ら進んで行動できる取り組み 現状と抱える課題 (資料説明) ・ 交流の場を広くしていくべきである。 ・ 防災訓練の実現に至っていないが、自ら声をかけながらやっていく必要がある。 ・ 北部、中部、南部に分かれることは大きな問題として捉えている。交流する場の障壁として、面積がすごく広すぎる。市民センター正風館だけでなく、北部であればハルカイト、南部であれば庄和南公民館があり、各々が交流の場として、情報交換をしながら、特徴として活かして、まちづくりをしていく必要があり、令和8年度の会の中でしっかり議論しまとめて、令和9年度の報告に入れさせていただくつもりである。 ・ 各団体、各地区、交流をするための拠点となる連絡ツールを持ち合わせていないが、地区センターとして、一定の連絡ツールは持ち合わせており、活用させていただきパイプ役となさせていただくことが、市民センターの職員、行政が重要な立場を担っていると考えているところである。 目標(将来像) (資料説明) 今後の方向性と検討課題 (資料説明) ・ 庄和地区自治会連合会等でも防災組織的なものを立ち上げ、防災士のネットワークを通して、行政に協力し合いながら有事の際に進めていけることを内容として、来年度から始めようとしている。これは自治会連合会の話であるが、自らができる体制づくりということで報告したいと思う。 以上、令和7年度末の答申について終わりといたしますが、この中で中間報告として有言実行に向けて更なる推進協議会を進めるために、会長としての立場で、協議会を推し進める指針として、今日までの議論の分析から3つのキーワードを考えた。 1 話し合い、意見交換、情報の共有化 2 協力し持ち寄って調整していく協調 3 情報の共有化、協調から生まれる信頼関係 3つのキーワードを協議会の中で浸透させながら、一体となって議論を進めていきたいと考える。以上、令和7年度庄和市民センターを拠点とした地域住民一体の地域づくりの協議内容の中間報告とさせていただきます。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
会 長	私の報告内容を踏まえて、各委員から4回の会議の感想を述べていただきたい。
各委員	《各委員からの感想》 ・ 報告内容に違和感はない。子どもと庄和地区の話をする機会、会話が增えた。 ・ 地区の良いところしか見えなかったが、課題について色々考えるようになった。 ・ 他の会議だと行政に主導されがちだが、委員各々きちんと具体的な意見が出ていた。 ・ 地域をいかによくするか考えてくれている場があることに感激した。 ・ 既存のものを活性化させること、市民の力を借り発展させるアプローチを考えたい。 ・ 意見を聞き、集約させ、一定の方向性が見えてきたのは良かった。 ・ 自分の地域、自治会しか考えなかったが、全体を考えるよいきっかけとなった。 ・ 地域の中の学校のあり方を考えさせられた。地域との繋がりは思うより潜在的にある。 ・ いかに無関心だったか実感した。住む人が実践していかなければならないと思う。 ・ PR活動は必要。活動すると明るく見える。今やっているものの底上げを。 ・ 公募委員、第三者からの意見は必要不可欠。絵に描いた餅にならないように。
会 長	次に、市長からお言葉をお願いします。
市 長	【5. 総評】 市民センターを設置した経緯について ・ これから先は、地域の皆さんと一緒にまちづくりをやる以外にない。 ・ コミュニティは再開されたがもとに戻らない。戻すには時間、労力、費用がかかる。 ・ 地域の特性があるので、決定は地域の方々に委ねるようにした。 ・ 4つの機能といっても、一つ一つの地域で温度差がある。 ・ 特色として、庄和地区は自治会の会議室利用が市内で最も多い。 ・ 子どもの一番の要望は「お腹いっぱいご飯が食べたい」 ・ もう一つは「大人の目を気にせず遊びたい」子どもたちのみの空間が必要。 ・ この会議で、子どものことを少し考えていただくとうれしい。 (中間報告)の中身について ・ 防災の部分で最も進んでいるのは豊野地区である。自治会連合会単位全体で協議会を作った。それぞれの自主防災組織だけでなく全体の組織を作り、さらに3つに分け、活動を実施している。 ・ 東京電力等、民間を導入している。 先進的な事例があるので参考にしてみることでネットワーク作りにも繋がる。 大切なことは、教えずに実践させることである。それを行うには防災士が必要 防災士に実際なってみることで意識が変わってくる。 《各委員に対して》 ・ 親子の会話の中で出たことを会議で発信していただくと素晴らしいと思う。 ・ 課題は見る側で良いこともあり悪いこともありわからない。皆さんと共有しながら納得した中で進めていくことが大切である。 ・ 結果を出すよりは、継続的によりよくしていこうと考えていただければと思う。 ・ 専門的な話、要望を言われるだけになりがちで、普通の感覚が極めて重要である。 ・ サークルの力を借りてPRというのはやって行くと素晴らしいかなと思いました。 ・ 継続していくことが重要なところ、まさにそのとおりで、2年間で結果を出すのではなく、また次の機会にと、よりよくしていただくのが良いと思う。

発 言 者		発言内容 ・ 決定事項
		・若い人の意見を聞くことで発見、驚きがある。ご自身の自治会だけでなく、全体的に考える視点というのは非常に重要である。 ・少しでもいい環境で子供達に頑張ってもらいたいと思っている。 ・春日部市にこういうふうになってほしいというお話で参考にしたい。 ・自分の街を悪く言う人が中心になっている街が良くなる訳がないと思っている。悪いところは言わず、良いところを挙げてもっと良くしていこうとすれば、参画する人の気持ちも盛り上がる。 全体的には、 ・広報の方法 ・旧来のイベントをバージョンアップさせていくのがいい ・防災 ということを非常に大きく感じたので、ぜひ今日のこの会議のご意見をいただいて、改善を図ってまいりたいと思いますので、今後ともご指導よろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
	事務局	【６．その他】 事務局より協議会会議への参加のお礼を述べる。 《市長、委員記念撮影》
	会 長	本日の議事はすべて終了となる。これをもって、本日の議長の職を解かせていただき、進行を事務局にお返しする。※議事終了、傍聴人退席
	事務局	【７．閉会】
議事の顚末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和８年　３月２７日 署名者の職 ・ 氏名 庄和地区地域づくり推進協議会 委 員 松原 睦（原書は自署）		